

留 学 報 告 書

平成29年6月8日

学 部 法文学部 学科・課程 言語文化学科

氏 名 中須賀月香

1. 留学先大学・学部 国名 フランス共和国

大学名 リヨン第三大学

現地到着日 (平成28年8月25日)

授業開始日 (平成28年8月29日)

現地出発日 (平成29年4月19日)

授業終了日 (平成29年4月14日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

パスポートの申請が第一。5月末までに、Campus FranceでEtudes en France の登録。ここでアカウントを作成し、オンライン申請、手続き料金の支払いをする。アカウント作成後、オンラインフォームを記入していくが、英語もしくはフランス語での記入になる。学歴の他、履歴書、留学計画、将来の展望、動機を書くことになる。いきなり直接動機を書くのは避ける。時間切れになってすべて消えてしまう可能性があるため、すべて手引きがあるのでそれに従って進めていく。結構大変なので早めにとりかかるのが良い。申請完了後、料金を振り込んだら、ビザの準備に入る。ビザ申請用紙は在日フランス大使館からダウンロードして印刷し、それに記入。また、ここで移民局提出用フォームもダウンロードし、記入する。また、経済証明をビザ申請の際、大使館に提出しなければならないが、フランスでおろせる銀行であることが望ましいので、新生銀行などの口座を開設した。本人名義で開設。口座開設は時間がかかるので、5月中にしておきたい。6月に必要書類をそろえて、大使館へ申請に行った。水曜日は交換留学生用の曜日なので、予約なしでも行ける。6月半ばにはリヨン第三大学から、住居を決めるインターネットサイトのURLがメールで送られてくるので、そこで住む家を決める。CROUSという寮や大学に近い物件は早くになくなるので、送られてきたらすぐ決めるのが良い。Wifiの有無は重要なので確認しておく。私は送られてきたその日に決めた。家を決めたら、最後手数料を払うことになるが、クレジットカードでの決済にした。国際送金は時間もかかる上、不安だったため。次はリヨン第三大学のホームページで、アカウントとパスワードの登録を行う。このパスワードは学校のWifiを使うときに必要になるパスワードなので忘れない。その他、授業登録の際や何かと必要になるので、アカウントとパスワードは何かにかき記しておく。大学のホームページで、住所や出生地、電話番号、

リヨンでの住所など必要事項を登録し、セキュリテソシアル（保険）のお金をクレジットで支払う。支払ったら、その画面を印刷しておく。次は航空券の手配。留学生用のオープンチケットが比較的low価格で手に入った。日本の航空会社の方が初めは良いと考える。また、到着後すぐに使うお金をユーロに変えて準備しておく。日本のクレジットカードを作っておいたほうがよい。そのときJCBは避ける。フランスではあまり使えない。VISAかMASTER CARDが望ましい。

3. 自宅から留学先大学までの交通手段（乗物の種類，乗り換え地，所要時間）

・日本から留学先大学まで

松山空港から羽田空港で乗り継ぎ、シャルルドゴール空港へ。ここでまた乗り継ぎ、リヨンまで飛行機。リヨンの空港に着いたら、ローヌエクスプレスという赤もしくは青のトラムに乗り、リヨン中心部にあるパールデュー駅に行く。そこからは、メトロやトラムを乗り継いでいく。

・寮から大学まで

徒歩10～15分のため徒歩で通学した。

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

CROUSという寮だったので入居日に、まず大学の国際交流課で必要書類をもらい、BNP PARIBASの人が来ていたので、そこで銀行開設の書類記入、住宅保険に入るということを書いてもらう。その用紙と、必要書類を持って、入居する寮へ。鍵をもらい入居。次は、銀行口座の開設。大学で口座開設書類に記入した際、1週間後に支店に来るように言われたので、その日に行った。そうすると、書類一式（住宅保険のアテスタシオン、銀行のRIBその他説明書類）をもらう。カードはさらに1週間後くらいにもらえる。その後家に、インターネットやアプリから自分の口座情報を見るときに必要な、IDやパスワードが送られてくる。カードの暗証番号も郵送されてくる。銀行口座を開設したら、次は学生証を大学で作る。証明書や、保険に入ったという証明書（2の項目で書いた、大学のサイトで手続きした後印刷したもの）、証明写真などを国際交流課に持っていく。学生証発行に必要なものリストは国際交流課でもらえるのでそれを参照する。続いて、授業の登録。大学のホームページから、自分のアカウント番号とパスワードを入力しPortail Scolaritéから登録する。一度登録したら、インターネット上では変更できないので注意。登録の仕方は、オリエンテーションで教えてもらえる。到着後大学での手続きではないが、一週間以内にしてほしいことは、移民局へ必要書類を簡易書留で送ること。遅くなると、三カ月以内に呼び出されない可能性が高いから。早いと、三週間

後には呼び出しがかかる。

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

オリエンテーションでは、授業のとり方、必須の授業について、学校の保険センターのような場所を教
てもらった。クラス分けテストは、SIMという必須ではないが、とっていた授業の最終日に行われた。S
IMを取っていない人のためのクラス分けテストはまた別の日にある。このテストは必ず受けなければなら
ない。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

FLEという外国人のためのフランス語の授業は、初めにテキストが渡される。そこから課題が出る。試験
は、文法の問題や、作文、読解の問題も出る。先生によって異なる。

フランス文化の授業は、前期は毎回の授業で資料が配られ、パワーポイントを用いて、先生が授業をするの
で、適宜メモをする。後期は自分で先生がインターネットにあげている資料を印刷する形に変わった。テス
トはマーク四択式だが年号やその他細かいことを聞かれるので、しっかり勉強する。

翻訳の授業も自分で前もって資料を印刷し、課題をするという形。パソコンで資料を閲覧しながら授業を受
け、印刷しない人の方が多い。現地学生はほとんどパソコン。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

フランス文化の授業。必須授業なので受けると思うが、先生のフランス語も分かりやすく、内容も多岐に
わたるため、非常におもしろい。翻訳の授業は三年生になると新書や天声人語を訳すので、難しいが、やり
がいあり。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

私はCROUSという寮に住んだ。キッチン、洗濯機は共同でシャワー、トイレは自分の部屋にあるものを選
んだ。初めは共同キッチンを不便だと感じたが、慣れると問題ない。家賃は住宅補助を受けて月167ユーロ、
大学までは徒歩15分だったのでよかった。CROUSではないアパートの方がきれいかもしれないが、その分家
賃も高い。後輩に勧めるなら、大学までの距離が近い物件を勧める。メトロ、バス、トラムがあり交通の便
はいいが、朝急ぐ人は距離が一番。ストライキが起きて線が止まることもあるので注意。CROUSが便利だと

私は考える。また、近くにスーパーがあるかチェックしておくのも大切。

9. 寮・アパート生活での注意，生活の様子（行事など），困ったこと，ルームメイトとの付き合い方，（いつから入れるのか，寮の開閉，寮が閉鎖中の滞在場所等）

寮に入れるまでは大学近くのホテルに滞在した。日本より比較的低価格で探せる。初めなので、しっかりしたホテルに滞在した方が不安は少ないと考える。寮は8月最後の週から入居することができた。寮に入るにはカードキーが必要だが、しばらくはもらえないため、チャイムを押して開けてもらって入る。注意してほしいのは、共同キッチンの場合、割と盗まれるので、必要なものは放置しないこと。自分の部屋は、常に鍵を閉めておくこと。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか，現金とかカードの利用は，自宅からの送金はどうしたか等）

私はマネパカードで日本からインターネット上でユーロに換え入金してもらっていた。手数料が銀行やクレジットカードよりもかからないため。日常生活で使っていたのはこのマネパカードと現地で開いた銀行口座のカード。現金は10~20ユーロくらいを持ち運んでいた。マルシェやパン屋さんで現金はよく使う。その他はほとんどカード。長財布は使わず、小銭入れにいれていた。

11. キャンパス案内（どんなとき，どこへ行けばよいか等）

何か手続等で分からない時は、大学の国際交流課を訪ねるとよい。昼食は大学内にカフェや食堂があるので、そこを利用する。

12. 現地案内（買物，銀行，レストラン，理髪店，美容院等の様子）

買物：Carrefourというスーパーが低価格。そのほかにもたくさんスーパーはある。少しいいものを買いたいとき、お土産を買う時はMONOPRIXがおすすめ。レジの店員は座っており、かごの物は、自分で取り出して並べる。袋はもらえないため、バッグを持参する。お肉は肉屋さんで買った方がいい。

銀行：何か手続をする際はたいてい予約が必要。

レストラン：リヨンだとBouchonという郷土料理が夜でも前菜、メイン、デザートついて20ユーロくらいで食べられる美味しいお店がたくさんある。パン屋さんはチェーンのお店もたくさんあるが、個人の店で評判

のところを探していくとなおよい。基本どこもおいしい。美容院は利用していないのでわからない。

治安：Guillotiereという所は移民街であり治安が良くないため夜の一人歩きは避けるとよい。ただし、日本食がリヨンの中だと安く買えるアジアンスーパーがあるのでおすすめ。昼間に買いに行くとよい。

13. 失敗談（どんな小さなことでも）

現地到着前に大学のホームページ上で手続きをするのを忘れていて、セキユリテソシアルのお金も払って
いなかったため、学生証の発行に少し時間がかかった。日本の保険には入らず、フランスのミュチュエルと
いう保険に入ったが、そこからの保険金がおりなかった。犬の糞がよく落ちているので気をつけて歩くこと。
三回踏んだ。ボディークリームを買ったつもりが、ボディソープだったこと。TGVが一時間半遅れて、乗り
継ぎできず、急遽、泊まる予定だったホテルにキャンセルの電話をし、乗り継ぎ地点で宿をとって宿泊しな
ければならなくなったこと。乗り継ぎ便は余裕をもってとった方がよい。

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

午前中は予約なしで見えてくれる病院を探して、そこに行く。医療費は一旦全額ポケットマネーで払う。第
一セクターの医者（町医者のような内科医）なら、22ユーロくらいなので大丈夫。薬は処方箋を持って薬局
へ。ここでも一旦全額払う。そんなに高くないので大丈夫。そして、病院にかかった際も、薬局に行った際
もfeuille de soinを下さいと言ってもらっておく。その紙に自分のセキユリテソシアルの仮の番号やその他
必要事項を書いて、自分が初め手続した保険事務所（LMDEかSMERRA）に持っていく。そうしたら三週間後く
らいに医療費の7割が自分の銀行口座に返ってくる。仮のセキユリテソシアルの番号が送られてきたら、か
かりつけ医の先生を決めておくとよい。かかりつけ医の先生に行くと7割返ってくるため。それ以外を受診、
もしくは、かかりつけ医を選ばないまま受診すると、3割しか返ってこない。

15. お世話になった方々

現地の友達、以前島大に留学していた友達、島大出身でリヨンに在住されている方には感謝しても感謝し
きれない。

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

場所：イギリス(ロンドン)イタリア（ヴェネツィア、フィレンチェ、ピサ、ローマ）ドイツ（ミュンヘン、

シュヴァンガウ、ローテンブルク、ニュルンベルク) 国内 (パリ、モンサンミシェル、コルマール、ベルサイユ、アヌシー、グルノーブル)。

手段：TGV、夜行バス、格安TGV(OUIGO)、格安バス(OUIBUS)、TER、格安航空(easyjet、Vueling)、ICE、DB、National Rail。TGVはカルトジュンヌというカードのセールをしていた時にそれを購入していたので、毎回割引価格で乗ることができた。OUIGOは10ユーロでパリまで行くことが可能。ただし、到着駅はパリ郊外のため、いろいろ踏まえると、TGVの方が安い場合もあるので比較する。モンサンミシェルに行った際は日本の旅行会社のツアーを利用。(Emitravel)ホテルは一人旅の際はユースホテルを利用し、同行者がいる場合は、シャワーは共同で評価がよくて低価格のホテルを選んでいった。全ての旅行でかかった費用は合計30万円程。オフシーズンはホテル代も交通費も低価格なので狙い目。ただし天気は運に尽きる。

17. 気候と服装について

リヨンの気候は日本と大差はない。冬があまり晴れないところは松江と似ている。ただし、一月は氷点下が続くため防寒必須。乾燥しているためクリーム類も必須。夏はサングラスがあるとよい。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの (学用品, 衣服, 食品, 薬, 運転免許証等)

学用品：筆記用具一式、パソコン、電子辞書、紙辞書、文法書。ノートは現地でも買えるが、線がたくさん入っているため、見にくいと感じるかもしれない。シャープペンシルはあまり見かけない。

衣服：冬服は宅配便で送ってもらった。

食品：特に持って行かなかった。リヨンでも高いが日本食が恋しくなったら買うことは可能。

薬：常備薬。

その他：ラップ (フランスのものは切れにくい) C型の変換プラグ、C以外にも複数組み合わせさせたプラグがあると、旅行で他の国に行った際は便利。カメラ、きれいな風景がたくさん。何か日本の物を少し。友達にあげると喜ばれる。これぞ日本！といったものでもいいが、意外とキャラクターものが喜ばれたりする。女性は、衛生用品多めに。すごく重要。フランスにもあるが、質が違う。

19. 留学に際し最も役立った本は (専門書, 旅行案内書を含めて)

現代フランス広文典。授業の予習、復習に非常に役立った。また、旅行案内書だと地球の歩き方フランス。読んでいなくても楽しいし、歴史や、特集などあり、知識を詰めておくと、旅行先に行った際、より一層

楽しめる。

20. ホームステイの依頼方法

利用していないので答えることができない。

21. 留学費用について

1) 旅費	(往) <u>85000円</u> , (復) <u>85000円</u>	
2) 準備費用		<u>141,000円</u>
3) 大学へ納入する費用		_____円
授業料 (年間合計)		_____円
保険等その他の費用		<u>60,000円</u>
4) 住居費 (光熱費等含む)		<u>200,000円</u>
5) 衣服代, その他雑費		<u>20,000円</u>
6) 帰国時の土産代, 郵送料等		<u>25,000円</u>
7) 留学先国内旅行費用		<u>300,000円</u>
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額		<u>1,300,000円</u>

現地通貨 10660ユーロ 日本円換算 1,300,000円

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

スーツケースが二個あったので日本に荷物は送っていない。ほとんど持って帰ったが、食器は重さがあるため捨てた。

23. 留学して得たこと (全般についての感想文)

学習面: 学習面で得たことは、語学力と追求力です。しかし、語学力はまだままで、これからも資格習得を目指して勉強していきたいと思います。追求力は、授業で分からないことがあったり、文法で疑問に思ったことなどを、とことん納得いくまで調べるようにしたりして、身に着けました。

生活面: 学んだことも多かった分、困難なことにぶつかったことも多々ありました。一つ一つの手続きの大変さはフランスに留学するにあたって避けては通れないことだと思います。しかし、そのようなことにぶつかっていくこと事態も面白く感じてくるので不思議です。忍耐力と、置かれた状況を楽しめる力を身に着け

ることができました。また、スリ等は非常に多いので自分の身は自分で守る危機管理能力や危機回避能力も身についたと感じています。

全体通して：着いてしばらくはスーパーに買い物に行くことでさえ、緊張していた私ですが、買い物先で出会った人や店員と会話を楽しむことができるようになったり、一人旅を遂行したり、手続上で問題があったら、代理店に行って指摘できるようになったりと様々な力を身に着けましたが、全体的にいい意味で図太くなったような気がしています。また、学校での友達との出会い、旅先での出会い、買い物先での出会い、街歩きでの出会い、様々な人との出会いはどれも大切な出会いで一期一会です。会話をすることで必ず新しい何かを発見することができ、より濃く過ごすことができたように思います。留学で得たことは語学力にとどまらず、それ以外のことも非常に大きいです。「当たり前」だと思っていたことが当たり前じゃなかったり、フランスのいい面、日本の方がいい面を見て感じて、足して二で割ったら丁度いいのに、と思ったこともありましたが、そういうことではなくて、それだからこそいいのだということに気づいたり、物事に対して決めつけて一面から見るのではなく、ちょっと見方を変えて見てみるができるようになったり、非常に抽象的ではあるのですが、そういったことを直に感じ学ぶことができたと考えています。いろんなことを学び考えて過ごしたこの留学は私にとってかけがえのない経験です。